

## 【文化部活動再開にあたっての留意事項】

※新型コロナウイルス感染症防止のため、部活動を行う際には、次の点を厳守すること。

- ①「3密」を回避する。(3つの条件が同時に重なる場)
  - ① 換気の悪い「密閉」空間
  - ② 近距離での「密接」した会話
  - ③ 多くの人の「密集」する場所
- ② 身体接触を伴う活動を制限する。
- ③ 活動は当面の間、平日のみとする。
- ④ 活動時間は、16:30までに完全に下校ができる時間とする。  
(活動時間には、ミーティングや片付け、更衣を含む)
- ⑤ 合宿、他校との交流(合同練習や対外試合)は当面の間禁止する。
- ⑥ 感染防止対策が十分にとれない場合は、部活動の実施を見合わせる。

### 【具体的な留意事項】

- 朝の検温、手洗い、手指の消毒、咳エチケット、マスクの着用、うがいの実施、活動場所の十分な換気など、感染防止対策を徹底すること。
- 比較的感染リスクが低いと言われる屋外での活動でも、更衣やミーティング等の際に、「3密」が重なることがあるので、十分注意すること。
- 唾液の飛沫による感染のリスクが高い活動を行う場合は、唾液の処理や飛沫に注意すること。  
例えば、吹奏楽・合唱・演劇・郷土芸能では、楽器等について適切な唾液の処理を行うこと。  
また、円形や向かい合っでの発声練習・大人数での合唱練習を行わない。
- 器具や備品等を共有する活動においては、随時消毒を行うなど衛生管理を行うこと。例えば、放送では、マイクをその都度消毒する。茶道では、作法や所作を中心に練習し、点てたお茶を他人に提供しない。
- 窓を閉めて行う書道のような活動においては、こまめに換気を行うとともに、生徒間の間隔を十分にとる。
- 部室等は、例えば教室も使用するなど生徒が「密集」しない環境を作るとともに、更衣は短時間の利用を心がけ、一斉に利用しない。
- タオル、コップ等は共用しない。

# 新型コロナウイルス感染症「文化部活動」に係る対策(例)

文化課

条件	活動の単位	団体で行う部活動	個人または少人数で行う部活動
	部活動	例:合唱、吹奏楽、マーチング、バトントワリング、演劇、郷土芸能	例:書道、囲碁、将棋、茶道、放送
① 密閉	◆ 対策例	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ こまめに換気を行う</li> <li>◆ 屋外での活動を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 入口や窓を開けた状態で行う</li> <li>◆ こまめに換気を行う(書道)</li> </ul>
② 密接	◆ 対策例	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 共有する楽器等については、随時消毒を行う</li> <li>◆ 円形や向かい合っでの練習を避ける</li> <li>◆ 個人および少人数での練習を行う</li> <li>◆ 楽器等の適切な唾液の処理、飛沫に注意する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 共有する駒・碁石、茶器、マイク等については、随時消毒を行う</li> <li>◆ 生徒間の間隔を十分に確保する</li> <li>◆ 個人および少人数での練習を行う</li> <li>◆ 対面となる場合は必ずマスクを着用する</li> <li>◆ 作法や所作を中心に練習する</li> </ul>
③ 密集	◆ 対策例	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 個人および少人数での練習を行う</li> <li>◆ 練習を複数の場所で行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 個人および少人数での練習を行う</li> <li>◆ 練習を複数の場所で行う</li> </ul>

